

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

未だに寒さ厳しい日々が続いておりますが、皆様に於かれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、『新政あいち』発足後初となる定例議会が先月20日より開会となり、来年度予算案をはじめとする重要議案の審議が始まりましたが、県内企業の好調を背景に、税収は今年度と比較して増収となる見込みであるものの、外形標準課税の拡大等により、企業の好調がそのまま増収には繋がりにくくなり、且つ、少子高齢化に伴う社会保障費の増加により、厳しい財政状況を脱したとは言い難い状況にあります。

従って、予算審議を通じて各事業の必要性を確認すると共に、昨年10月に会派として知事に提出した「政策予算要望」の内容が確実に予算案に盛り込まれているかチェックし、誰もが魅力を実感できる愛知づくりに今後も全力で努めてまいります。

また、今回の議会では一般質問を行う機会も与えられておりますので、大きくは二点について質問を行う予定ですが、先ず一点目は『水道事業の長期安定的な運営』について、人口減少に伴う需要の減少や施設の老朽化などの課題に直面し、水道料金は2046年度までに約6割の値上げが必要との試算もされている事から、広域化も含めた水道事業の長期安定的な運営に向けた県の考えを問いたいと思います。

また、二点目は世界3大スポーツイベントのひとつである『ラグビーワールドカップ』が2019年に豊田スタジアムを含む国内12会場で行われますが、観客のおもてなしや輸送計画など、大会成功に向けた諸施策を確認すると共に、大会開催を通じ我が県が取り組んでおります、人・モノ・金・情報を世界から呼び込む中京大都市圏づくりについても提言を行ってまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 